

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0311	保健所施設管理費	健康医療部	医事薬事課	2
0312	薬局等監視指導事業	健康医療部	医事薬事課	3
0321	休日診療所運営補助金	健康医療部	医事薬事課	4
0321	急患医療センター運営事業	健康医療部	医事薬事課	5
0321	在宅当番医・救急医療情報提供事業	健康医療部	医事薬事課	6
0321	小児救急医療確保事業	健康医療部	医事薬事課	7
0321	小児救急医療支援事業補助金	健康医療部	医事薬事課	8
0321	病院群輪番制病院運営事業補助金	健康医療部	医事薬事課	9
0321	医療提供体制整備事業	健康医療部	医事薬事課	10
0322	離島診療連絡船維持管理事業	健康医療部	医事薬事課	11
0322	患者搬送車維持管理事業	健康医療部	医事薬事課	12
0322	産科医等確保支援事業補助金	健康医療部	医事薬事課	13
0322	中島等地域医療確保事業	健康医療部	医事薬事課	14
0322	島しょ部航路運賃助成事業	健康医療部	医事薬事課	15
0322	医療安全支援センター運営事業	健康医療部	医事薬事課	16
0322	衛生検査所精度管理事業	健康医療部	医事薬事課	17
0322	病院等監視指導事業	健康医療部	医事薬事課	18
0322	松山市医師会准看護師・看護師育成事業補助金	健康医療部	医事薬事課	19
1011	災害用医薬品管理事業	健康医療部	医事薬事課	20

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	保健所施設管理費	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0311					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	健康づくりの推進	根拠法令			
主な取組	健康づくり活動に取り組む市民への支援				
目的・背景	【目的】松山市保健所・消防合同庁舎、保健センターの両施設について、市民及び職員が安全かつ安心に利用できる状態を維持することを目的としている。 【背景】昭和61年に保健センターが、平成12年に松山市保健所・消防合同庁舎が建設されたことに伴い、施設の維持・管理が必要となり開始した。				
対象・内容	【対象】松山市保健所・消防合同庁舎、保健センター 【内容】各施設の設備等に係る保守点検委託を行い、安全に施設が利用できる環境を整える。 警備・清掃・総合案内など維持管理に係る委託を行い、市民が安心して利用できる体制を整える。 保健所所内公用車の維持管理を行い、公用車を適正利用できる環境を整える。 保健所行事等の調整を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健所総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	保健所の施設修繕等工事 請負費		286,557
予算 (千円)	事業費計	269,459	557,312	129,279			保健所庁舎管理に係る委 託料	25,075	
	国費・県費								
	市債	131,100	337,300	34,200					
	その他	62,871	154,222	26,118					
	一般財源	75,488	65,790	68,961		保健所の電気・ガス・水道 等の光熱水費		18,851	
決算 (千円)	事業費計	178,249	407,495			主な 取組 内容 【R7】	保健所・消防合同庁舎空調設備更新工事 保健所・消防合同庁舎及び保健センター外 壁ほか改修工事 保健所・消防合同庁舎中央監視設備更新工 事		
	国費・県費								
	市債	87,300	241,400						
	その他	25,277	24,157						
	一般財源	65,672	141,938						
	(執行率)	66%	73%						
人役	正規職員	1.1	1.1	1.1		特記 事項	令和8年度へ繰越 ・工事請負費60,000千円・市債34,200 円・基金繰入金25,800円		
	その他								
	合計	1.1	1.1	1.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

3.事業計画(検証・改善)【CHECK ACTION】									
種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	法定点検実施回数		目標	1	1	1	1	決定点検を確実に実施し、不良箇所は速やかに修繕を行うなど、日頃から適切な維持管理を行うことができた。	
			実績	1	1				
	現状維持	回数	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市民及び職員が安全安心に施設を利用できるよう、適切に維持管理を行うことができた。							
課題	建物及び施設内部の設備について経年劣化が見られるため、各所の劣化状況を確認し、修繕の順番を付け、適切に更新を行っていく必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	庁舎の維持管理であるため

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医薬事業課	担当G	医薬指導担当	連絡先	911-1805
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	薬局等監視指導事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0312					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		－	－	
施策	健康づくりの推進	根拠法令	毒物及び劇物取締法第4条、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第4条第1項 他		
主な取組	予防医療の充実や心身の健康維持の促進				
目的・背景	【目的】医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性を確保し、保健衛生を向上させ、また、毒物劇物による保健衛生上の危害を防止し、市民の安全安心を確保することを目的とする。 【背景】平成10年度に保健所設置市となったため医薬品等販売業監視指導事業として開始した。 その後、薬局開設許可や高度管理医療機器等販売業許可などの各権限が委譲され、平成17年度からは薬局等監視指導事業に名称を変更。 令和7年度には、「毒物劇物監視指導事業」を統合し、毒物及び劇物取締法に基づく毒物劇物営業者の監視指導等を行っている。				
対象・内容	【対象】薬局、店舗販売業、医療機器販売業者、毒物劇物事業者（一般販売業、農薬用品目販売業、特定品目販売業、業務上取扱者） 【内容】許可・登録・届出に伴う現地調査及び事務処理、年間薬事監視指導計画に基づく立入検査、無承認無許可医薬品、不良不正医薬品、医療機器等や特定販売の広告監視指導、農薬危害防止月間に農薬販売店への監視や毒物劇物の大規模事業者への重点監視、毒物劇物に関する漏洩事故や水質事故等の松山市危機管理マニュアルに基づく担当部署と連携した現地調査 【対象】市民 【内容】市民生活に関連の深い医薬品の正しい知識について、講座や啓発活動 社会問題である「危険ドラッグ」の撲滅に向け、講座や啓発活動 毒物劇物適正管理のため、事業者や市民を対象とした講習会を開催し、周知啓発する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健所総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	消耗品費		353
予算 (千円)	事業費計	1,025	1,118	1,088			県システム使用の負担金		267
	国費・県費	47	47	47			薬事団体への補助金		190
	市債								
	その他	3,376	3,072	3,554					
	一般財源	-2,398	-2,001	-2,513					
決算 (千円)	事業費計	907	852			主な取組 内容 【R7】	・薬局、店舗販売業、医療機器販売者、毒物劇物営業業者等の許可、届出、登録に伴う現地調査を実施 ・年間指導計画に基づき立入検査を実施 ・医薬品の適正使用や危険ドラッグ撲滅に向けた啓発活動の実施 ・県と合同で毒物劇物事業者への重点監視 ・市危機管理マニュアルに基づく毒劇物漏洩等の調査		
	国費・県費	47	47						
	市債								
	その他	2,894	2,737						
	一般財源	-2,034	-1,932						
	(執行率)	88%	76%						
人役	正規職員	3.5	4.5			特記事項	令和7年度に「毒物劇物監視指導事業」を統合		
	その他								
	合計	3.5	4.5	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	薬事監視(薬局・店舗・特例・高度医療機器・毒物劇物営業者(R7～))	目標		332	412	409	409	監視指導計画に基づき、計画的、効率的に立入検査を実施した。令和7年度の「毒物劇物監視指導事業」の統合により、監視対象及び目標件数を変更する。	
		実績		261	289				
	現状維持	件	達成率	79%	70%				
			目標						
				実績					
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	効率的な立入検査に努め、施設に対する適切な指導を実施した。また、市民に向けて医薬品の適正使用の啓発を積極的に行うなど、医薬品の安全確保と適正使用につなげることができた。							
課題	令和8年5月に薬事法が改正施行され、指定濫用防止医薬品の販売ルールが厳格化され、これらを扱う薬局や店舗への監視を適切に行う必要がある。また、社会的にオーバードーズなど薬物乱用が問題となっており、市民等への更なる啓発活動が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	法令に基づく薬局等の監視指導を行い、医薬品等の安全性確保と適正使用により、市民の安全安心を確保する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	休日診療所運営補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	－	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市休日診療所等運営費補助金交付要綱		
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】日曜・祝日の急病患者への医療確保を目的としている。 【背景】昭和43年に松山市医師会が休日診療所を開設したことに伴い、一次救急医療体制を確保するため、取組を開始した。				
対象・内容	【対象】松山市医師会、松山薬剤師会 【内容】松山市医師会が開設する休日診療所及び松山薬剤師会が開局する松山会営薬局の運営に対して補助金を交付し、日曜・祝日の日中の急病患者に対し、医療サービスを提供する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	休日診療所運営補助金		12,104
予算 (千円)	事業費計	13,623	13,780	13,780			休日調剤薬局運営事業補 助金	1,676	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,623	13,780	13,780					
決算 (千円)	事業費計	13,623	13,780			主な 取組 内容 【R7】	日曜・祝日の急病患者に対する医療の確保		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,623	13,780						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	24時間365日救急医療を受けられる体制		目標	100	100	100	100	日曜・祝日の一次救急医療の診療体制が整備され、地域住民が安心して医療を受けることができています。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	日曜・祝日の一次救急医療の診療体制が整備され、地域住民が安心して医療を受けることができています。							
課題	年末年始等の大型連休時に患者が集中することがあり、その対応が課題となっている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、市民が安心して医療を受けられるよう日曜・祝日の急病患者への診療体制を維持する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	急患医療センター運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	－	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市急患医療センター設置条例 松山市急患医療センター設置条例施行規則		
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】年間を通じて夜間の初期救急医療体制を確保するとともに、重症患者については、救急当番医療機関や小児救急医療支援病院への円滑な転院体制を整備することを目的とする。 【背景】二次救急医療機関に軽症患者が集中し、救急医療体制の維持が困難な状況が発生していたため、市民の安全・安心を守るとともに、医療関係者の疲弊を防ぐため開始した。				
対象・内容	【対象】市民 【内容】松山市急患医療センターで、夜間の急病患者に対し、応急処置を実施する。 ○内科 月曜日～土曜日(1月1日を除く) 21:00～24:00(受付20:30～23:30) ○小児科 毎日 21:00～翌8:00(受付20:30～翌7:30)				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	報償費(医師出務謝礼)		77,101
予算 (千円)	事業費計	231,624	260,133	252,113			消耗品費(薬剤等)		11,988
	国費・県費								
	市債								
	その他	181,453	198,292	172,196					
	一般財源	50,171	61,841	79,917		委託料(清掃、警備等)		19,398	
決算 (千円)	事業費計	232,634	249,223			主な取組 内容 【R7】	夜間の急病患者に対し、応急処置を実施した。 重症事例の場合は、二次救急医療機関等への転院を適切に行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	144,537	147,168						
	一般財源	88,097	102,055						
	(執行率)	100%	96%						
人役	正規職員	4.7	4.7	4.7		特記 事項			
	その他	0.4	0.4	0.4					
	合計	5.1	5.1	5.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	毎日急患医療センターを安定的に運営するための人員確保		目標	100	100	100	100	市民が安心して暮らせるよう適切に人員を確保し救急医療体制を継続して維持することができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
成果指標	小児の夜間急病について365日救急医療を受けることができる体制		目標	100	100	100	100	夜間の急な発熱等の小児患者に医療サービスを提供し、症状悪化や重症化を防ぐ小児救急医療体制を維持することができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	夜間の一次救急医療体制を確保するため、365日、松山市急患医療センターの運営を行い、急病者への応急処置や二次救急医療機関への転院を適切に行い、市民が安心して暮らせるまちづくりに寄与できた。							
課題	開業医の高齢化や医師の働き方改革に伴い、今後も継続的に急患医療センターに出務する医師の確保に努める必要がある。また、患者が集中する年末年始等の大型連休時の診療体制等に柔軟に対応する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	夜間の救急医療体制を維持するため、現行の体制を維持しつつ必要な対策を行う必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	在宅当番医・救急医療情報提供事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令			
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】休日の眼科の医療提供体制の確保と、救急医療知識の普及啓発等を目的としている。				
対象・内容	【対象】市民、松山市医師会 【内容】松山市医師会に、休日の眼科の在宅当番医の調整、救急医療に関する情報提供、救急医療知識の普及啓発等を委託し、休日の眼科の急病患者対応等を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度			主な経費 (千円) 【R7 決算】	在宅当番医・救急医療情報提供実施事業委託料	7,430
予算 (千円)	事業費計	7,511	7,511	7,511				在宅当番医師賠償責任保険料	81
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,511	7,511	7,511					
決算 (千円)	事業費計	7,511	7,511				主な取組 内容 【R7】	松山市医師会に委託し、在宅当番等による 休日の眼科の急病患者対応を行った。	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,511	7,511						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1			特記 事項		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	休日の眼科一次救急が確保できる体制		目標	100	100	100	100	休日の眼科の在宅当番等を行うことで、急病患者への医療を確保することができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山市医師会に委託を行い、休日の眼科の急病患者への医療を確保することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	休日の眼科の一次救急の確保が必要であるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	小児救急医療確保事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令			
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】診療科目の偏在や高齢化等により小児救急に携わる医師が不足しているため、小児救急医療を確保するための取組を行い、小児救急医療体制を長期安定的に維持することを目的としている。				
対象・内容	【対象】愛媛大学、事業者、市民 【内容】愛媛大学医学部に寄付講座を設置し、大学病院から松山市急患医療センターへの出務をいただくほか、小児科医の育成や小児医療に関する普及啓発を行う。 市内に小児科を新規開業する場合に費用の一部を補助し、松山市急患医療センター等に出務可能な小児科医を確保する。 松山赤十字病院及び愛媛大学医学部の臨床研修指導医が松山市急患医療センターに出務する際に小児科研修医の実地研修を実施する。 救急医療を正しく利用していただくため、幼稚園や保育所、公民館等で出前講座を実施し、小さなお子さんと関わりがある保護者等を対象に広く救急医療に関する情報を発信し、適正受診等の周知を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	地域小児保健医療学講座 寄付金(愛媛大学医学部)		23,000
予算 (千円)	事業費計	34,507	33,740	35,255			松山市小児科新規開業促 進補助金		10,000
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	34,507	33,740	35,255					
決算 (千円)	事業費計	23,478	33,382			主な 取組 内容 【R7】	寄附講座により大学病院から松山市急患医 療センターの出務をいただいたほか、小児 科研修医の実地研修を実施した。また、小 児科の新規開業に対し、補助金を交付した ほか、出前講座で市民に救急医療に関する 情報発信と適正受診の啓発を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他		12						
	一般財源	23,478	33,370						
	(執行率)	68%	99%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	松山市小児科新規開業促進補助金		目標	1	1	1	1	令和7年度に補助金を利用して1件の開業があった。令和7年度までに5件の開業実績あり。	
			実績	0	1				
	現状維持	件	達成率	0%	0%				
成果指標	出前講座依頼に対する開催率		目標	100	100	100	100	依頼に合わせ確実に開催し、救急医療に関する啓発ができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	愛媛大学医学部の寄附講座を継続し、松山市急患医療センターの出務医を確保するほか、松山市急患医療センターで小児科研修医の実地研修を行い、将来を担う小児科医の育成に繋げることができた。また、出前講座も令和7年度に21件開催し、延べ534名の方に救急医療に関する啓発を幅広く行うことができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	小児救急医療体制を維持していくため、新規開業促進補助金等を継続するなど、小児科医を確保する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	小児救急医療支援事業補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市小児救急医療支援事業等補助金交付要綱		
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】病院群輪番制病院が8日サイクルで実施する救急当番日のうち、6日間は小児の重症患者の受け入れが困難なため、小児救急医療支援事業を実施する病院に補助を行い、24時間365日の小児二次救急医療体制を確保することを目的としている。				
対象・内容	【対象】松山赤十字病院、松山市民病院 【内容】小児重症患者の受け入れを行う病院(松山赤十字病院、松山市民病院)に対し、小児科医師の確保などに要する経費を補助する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	小児救急医療支援事業補助金		151,500
予算 (千円)	事業費計	171,500	171,500	171,500			病院群輪番制病院運営事業補助金(小児二次救急)		20,000
	国費・県費	4,749	4,635	4,683					
	市債								
	その他	32,993	33,015	33,006					
	一般財源	133,758	133,850	133,811					
決算 (千円)	事業費計	171,500	171,500			主な取組 内容 【R7】	小児の二次救急医療体制を維持するため 小児重症患者の受入病院に対し、補助金を 交付した。		
	国費・県費	4,749	4,635						
	市債								
	その他	32,993	33,015						
	一般財源	133,758	133,850						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	24時間365日救急医療を受けられる体制		目標	100	100	100	100	急な病気や怪我の時に、24時間365日小児を受け入れできる救急医療体制が維持できている。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	急な病気や怪我の時に、24時間365日小児を受け入れできる救急医療体制が確保できているため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	小児救急医療体制を長期的・安定的に維持するため、継続して関係機関と連携する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	病院群輪番制病院運営事業補助金	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	－	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱 松山市救急搬送受入にかかる補助金交付要綱		
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】重症患者等を受け入れる二次救急医療体制を安定的に提供することを目的としている。 【背景】昭和39年に救急病院等を定める省令が施行され、昭和40年に救急告示医療機関が救急活動を開始し、昭和52年に病院群輪番制による二次救急医療体制が整備されことに伴い開始した。				
対象・内容	【対象】病院群輪番制病院 【内容】休日・夜間に入院治療等を必要とする重症患者の医療を確保するため、14の病院群輪番制病院にその運営にかかる費用を補助する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	病院群輪番制病院運営費補助金		42,488
予算 (千円)	事業費計	63,869	64,158	63,415			救急搬送受入事業補助金		21,000
	国費・県費						救急医療対策協議会への負担金		500
	市債								
	その他	12,541	12,597	12,467					
	一般財源	51,328	51,561	50,948					
決算 (千円)	事業費計	63,722	63,988			主な 取組 内容 【R7】	二次救急医療体制を維持するため、14の病院群輪番制病院に補助金を交付した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	11,347	12,597						
	一般財源	52,375	51,391						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項	令和5年度から、「松山市救急医療対策協議会負担金」と「救急医療啓発事業」を「病院群輪番制病院運営事業補助金」に統合		
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	24時間365日救急医療を受けられる体制		目標	100	100	100	100	急な病気や怪我の時に、24時間365日の救急医療体制が維持できている。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	急な病気や怪我の時に、24時間365日の救急医療体制が維持できているため。							
課題	医療従事者の不足や近年の物価高騰等により、二次救急輪番病院の負担が増加しているほか、令和7年度の包括外部監査で「運営補助金の算定根拠の明確化」や「搬送補助金の公平性確保」について意見がなされている。					今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	課題解決に向けた補助制度の見直しと、将来にわたって持続可能な救急医療体制の構築に向け、関係各所との協議を継続して行う必要がある。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	医療提供体制整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0321					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令			
主な取組	持続可能な二次救急医療体制の構築				
目的・背景	【目的】令和7年度の年末年始の一次救急医療体制の充実を図り、急病患者が受診しやすい救急医療体制を確保することを目的としている。 【背景】令和6年度の年末年始の一次救急医療体制の混乱を踏まえ、前年同様9連休となる令和7年度の年末年始の診療体制強化と混雑緩和に係る対応が必要と考え、事業を実施した。				
対象・内容	【対象】松山市医師会、松山薬剤師会、事業者、市民 【内容】協力医療機関による臨時診療と調剤薬局の臨時開局を松山市医師会、松山薬剤師会に委託して実施することに加え、オンライン診療を実施する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	年末年始臨時診療体制確保業務委託		9,521
予算 (千円)	事業費計	0	29,231	0			年末年始臨時開局薬局確保業務委託		4,581
	国費・県費						オンライン診療体制構築事業業務委託		4,293
	市債								
	その他								
	一般財源		29,231						
決算 (千円)	事業費計	0	18,825			主な取組 内容 【R7】	協力医療機関による発熱外来等の実施やオンライン診療の実施により市民が医療機関を受診できる機会を確保するとともに、診療に伴う調剤対応として、調剤薬局の臨時開局を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源		18,825						
	(執行率)	0%	64%						
人役	正規職員					特記事項 <td colspan="3" rowspan="3"></td>			
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	臨時診療の延べ協力医療 機関数		目標		25			松山市医師会の協力を得て、各医療機関に 依頼した結果、当初の予定より多くの医療 機関に臨時診療を実施いただくことができ た。	
			実績		32				
	現状維持	施設	達成率		132%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	インフルエンザ等の感染症の流行と重ならなかったことや、オンライン診療、臨時診療などを実施したことで、一次救急医療機関(市急患医療センターと市医師会休日診療所)や二次救急医療機関で、令和6年度のように多数の患者が来院する大きな混乱は起こらなかったため。							
課題	特になし					今後の 方向性	事業終期到来	左記の 理由	暦の関係(年末年始の9連休)による、令和7年度限りの臨時的な対応のため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	離島診療連絡船維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】中島病院及び5つの離島診療所の医療サービス水準の維持、向上を目的としている。 【背景】中島病院及び5つの離島診療所の民営化に伴い、一次救急医療、離島診療体制の維持等について、医療法人「友朋会」と覚書を締結。その際、離島診療所での診療については、島間の移動手段を行政が支援することとし、市が所有する離島診療連絡船で「なかじま中央病院」の医療従事者を毎週月曜日から金曜日の間、5つの離島診療所に送迎することとなり事業を開始した。				
対象・内容	【対象】あいらいん株式会社、医療法人友朋会 【内容】市が所有する離島診療連絡船の運航、管理及び整備を民間業者（あいらいん株式会社（3年間の複数年契約：令和6年度～令和8年度まで））に委託し、5つの離島診療所に各島週2回の診療を行う「なかじま中央病院」の医療スタッフ（医師、看護師、薬剤師、事務員）を送迎する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	離島診療連絡船運航等業務委託料		4,818
予算 (千円)	事業費計	18,409	14,236	16,099			離島診療連絡船定期ドック整備等 修繕料		3,734
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	18,409	14,236	16,099		離島診療連絡船の燃料費		1,767	
決算 (千円)	事業費計	12,816	16,834			主な 取組 内容 【R7】	離島診療連絡船の運航、管理及び整備を委託し、医療スタッフの送迎を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	12,816	16,834						
	(執行率)	70%	118%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	離島診療連絡船の数		目標	1	1	1	1	適切な管理により、連絡船を維持することができた。	
			実績	1	1				
	現状維持	艇	達成率	100%	100%				
成果指標	運航割合		目標	100	100	100	100	確実に運航を行うことができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	運航に支障が出ないよう、日頃から運航後に点検を実施するなど適切な維持管理を行い、確実な運航ができていたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も安定した運航を行い、離島住民が適切に医療サービスが受けられる体制を維持する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	患者搬送車維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令			
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】救急車がない中島本島で消防局からの出動要請により、急病患者を島内の病院や港へ搬送し、24時間365日の患者搬送体制を確保することを目的としている。 【背景】高齢化・過疎化が進む中島本島で、常備消防がない中、急病患者の搬送が必要であったため取組を開始した。				
対象・内容	【対象】中島汽船株式会社 【内容】中島本島内の急病患者の搬送を委託 市が車両の維持管理を行い、民間業者に車両の運行を委託し、消防局からの出動要請に応じて急病患者の搬送を実施している。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	患者搬送車運行管理業務委託料		7,742
予算 (千円)	事業費計	7,890	7,845	7,827			患者搬送車車検整備等修繕料		50
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,890	7,845	7,827		患者搬送車通信費		17	
決算 (千円)	事業費計	7,869	7,823			主な 取組 内容 【R7】	・患者搬送車の運行を委託し、消防局からの要請に基づき、救急搬送を実施 ・患者搬送車の維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,869	7,823						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	患者搬送車数		目標	1	1	1	1	適切な管理により毎日の搬送車を確保できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	台	達成率	100%	100%				
成果指標	患者搬送割合		目標	100	100	100	100	出動要請に応じ、確実に搬送を行うことができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	日頃から車両や搭載するストレッチャーの点検など、出動に備えた維持管理を行うとともに、消防局からの出動要請に備えて出動要員を常時2名待機させるなどにより、救急搬送に100%対応することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	常備消防の無い中島本島で急患患者の搬送体制を確保する必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	産科医等確保支援事業実施要綱・愛媛県産科医等確保支援事業補助金交付要綱・松山市補助金等交付規則		
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景		【目的】医師確保対策の一環として、地域でお産を支えている産科・産婦人科医師及び助産師への財政支援をすることを目的としている。 【背景】減少傾向にある産科医等の処遇を改善し、その確保を図るため、平成21年度から実施された厚生労働省の補助事業を導入した(平成26年度からは「地域医療介護総合確保基金事業」に移行)。			
対象・内容		【対象】松山市内の分娩取扱医療機関 【内容】分娩を取り扱う産科・産婦人科医師及び助産師に、分娩取扱件数に応じて「分娩手当」を支給している松山市内の分娩医療機関に対し、支給額に応じた補助金を交付する。			

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	補助金		6,088
予算 (千円)	事業費計	7,286	6,480	6,602					
	国費・県費	7,286	6,480	6,602					
	市債								
	その他								
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	5,978	6,088			主な取組 内容 【R7】	「分娩手当」を支給する分娩取扱医療機関に補助金を交付する。令和7年度の交付先は、矢野産婦人科、米本マタニティクリニック、産婦人科ばらのいずみクリニック、つばきウイメンズクリニック、梅岡レディースクリニック、まつやま助産院の6施設		
	国費・県費	5,978	6,088						
	市債								
	その他								
	一般財源								
	(執行率)	82%	94%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	申請に対する補助金の交付率		目標	100	100	100	100	交付要綱に基づき確実に補助金を交付することができた。	
			実績	100	100				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	分娩件数に基づき補助金を支払い財政支援を行うことで、減少している産科・産婦人科、医師・助産師確保の一助となっている。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	産科医等確保の一助となるよう財政的支援を継続して行う。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	中島等地域医療確保事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市補助金等交付規則		
主な取組	地域医療体制の維持		松山市中島区域病院等運営費補助金交付要綱		
目的・背景	【目的】中島をはじめとする離島地域の医療確保と、中島病院民営化後の経営安定化を目的としている。 【背景】平成19年度から5年の時限的措置として、一次救急医療の確保と5つの離島診療所運営に要する経費の一部を補助してきたが、著しい少子高齢化に伴う人口減少等により、病院経営がひっ迫し、今後も劇的な改善は見込めないことから、継続して補助を行っている。				
対象・内容	【対象】離島診療所、医療法人友朋会 【内容】6つの離島診療所の維持管理と、病院等の引受先法人である医療法人「友朋会」からの補助金交付申請を受けて、年度2回に分けて補助金を交付し、離島住民に医療サービスを提供する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	中島区域病院等運営費補助金		74,000
予算 (千円)	事業費計	75,180	75,180	81,580			興居島診療所修繕工事		120
	国費・県費								
	市債	51,300	44,700	43,900					
	その他	23,056	29,627	36,127					
	一般財源	824	853	1,553					
決算 (千円)	事業費計	74,164	74,190			主な取組 内容 【R7】	・医療法人友朋会に運営費補助金を交付 ・離島診療所(睦月、野忽那、怒和、津和地、 二神、興居島)の維持管理		
	国費・県費								
	市債	51,300	44,700						
	その他	23,023	29,628						
	一般財源	-159	-138						
	(執行率)	99%	99%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	病院数の維持		目標	1	1	1	1	適切な運営補助支援により、中島本島の病院を維持できた。	
			実績	1	1				
	現状維持	施設	達成率	100%	100%				
成果指標	一次救急の診療日数		目標	365	365	365	366	24時間365日の医療体制を確保できた。	
			実績	365	365				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	補助金を交付する等により、中島等の地域で利用できる医療施設を維持することができた。 一次救急医療は、必要な体制を構築し目標を達成することができた。離島診療は、悪天候等によるやむを得ない場合を除き実施することができた。							
課題	離島医療を確保するため、医療法人友朋会と市の支援の在り方や、今後の診療方法等について継続的に協議を行っていく必要がある。 また、各診療所の老朽化に対応するため、診療を継続できるよう修繕を行っていく必要がある。					今後の方向性	見直しを検討	左記の理由	中島地域の医療体制確保のため、補助を継続する必要があるが、今後も経営状況の回復は見込めないため、支援の在り方について見直しが必要。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	島しょ部航路運賃助成事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	－	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市島しょ部航路運賃助成交付要綱		
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】島しょ部に居住する住民が医療機関の受診を目的に島しょ部航路を利用した場合、その運賃の一部を助成することで、住民の負担軽減を図るとともに、島しょ部への定住促進を図ることを目的としている。				
対象・内容	【対象】島しょ部に居住する市民 【内容】月2回以上医療機関で診療を受けるために島しょ部航路を利用する場合、2回目以降の復路フェリー旅客運賃相当額を助成する。 医療機関で診療を受けるために島しょ部航路を利用する中学生以下の方及び同行する同一世帯の保護者1名に復路フェリー旅客運賃相当額を助成する。 月2回以上医療機関で診療を受けるために島しょ部航路を利用する要介護者とその介助者1名に、2回目以降の復路フェリー旅客運賃相当額を助成する。 週2回以上の通院による透析治療のために島しょ部航路を利用する場合に、復路フェリー旅客運賃相当額の半額を助成する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健衛生費	目	診療所費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	補助金		5,513
予算 (千円)	事業費計	7,671	6,800	6,959					
	国費・県費	282	216	264					
	市債								
	その他								
	一般財源	7,389	6,584	6,695					
決算 (千円)	事業費計	6,101	5,780			主な取組 内容 【R7】	補助金の申請受付及び交付事務を行う。		
	国費・県費	312	281						
	市債								
	その他								
	一般財源	5,789	5,498						
	(執行率)	80%	85%						
人役	正規職員	0.7	0.7	0.7		特記 事項			
	その他	0.4	0.4	0.4					
	合計	1.1	1.1	1.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	広報周知回数		目標	1	1	1	1	制度改正に合わせたチラシを、令和7年10月に本事業の対象者に周知・啓発することができた。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	通院支援助成を行った実人数		目標	680	658	584	584	島しょ部の人口が年々減少していることや、2年間であればまとめて申請できることを令和6年度に周知したことで、徐々に申請数が減少していると考えられる。	
			実績	658	584				
	現状維持	人	達成率	97%	89%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	適切な周知・啓発を行い本事業の対象者へ補助金を交付することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	島しょ部に居住する方に本事業が周知され、制度が定着してきているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	医薬指導担当	連絡先	911-1865
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	医療安全支援センター運営事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	1:直営
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		○	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	医療法第6条の13第1項		
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】医療に関する患者及び住民の苦情・相談に対応し、医療提供施設に対する助言、情報提供及び研修を行うとともに、患者及び住民に対する助言及び情報提供を行い、意識啓発や医療安全を推進することによって、住民の医療に対する信頼を確保することを目的としている。 【背景】平成11年に起こった患者取り違え等の医療事故が「医療安全」を見直すきっかけとなり、平成15年に医療法で保健所設置市等に「医療安全支援センター」の設置が求められた。本市は翌年に「患者の声相談窓口」を開設し、平成19年に松山市医療安全支援センターを設置し、医療安全に取り組んでいる。				
対象・内容	【対象】市民、医療機関、関係機関 【内容】「患者の声相談窓口」で、患者・家族からの医療に関する苦情・相談に対応する。 医療機関へ情報提供、助言を行い「医療安全対策講習会」を実施し、医療従事者の資質向上に努める。 「リスクマネージャー等研修及び情報交換会」を開催し、医療機関と連携する。 「笑顔のまつやま まちかど講座」にて「賢い患者さんになるために」というテーマで、医療安全について周知啓発する。 「医療安全推進協議会」を開催し、医療安全について専門委員等から意見を聴取する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健所総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	講師の報償費		127
予算 (千円)	事業費計	682	685	550			啓発冊子の印刷製本費		97
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	682	685	550		協議会委員の報酬		66	
決算 (千円)	事業費計	434	346			主な取組 内容 【R7】	・「患者の声相談窓口」で相談対応 ・「医療安全対策講習会」の開催 ・「リスクマネージャー等研修及び情報交換会」を開催 ・「医療安全推進協議会」を2回開催 ・「わたしのかかりつけ手帳」を2,000部作成		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	434	346						
	(執行率)	64%	51%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	2.0	2.0	1.0					
	合計	2.5	2.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	患者の声相談窓口等 啓発冊子の配布数		目標	1,500	1,500	1,500	1,500	地区組織等へ周知啓発を行ったので、配布数の目標は達成できた。	
			実績	1,127	1,505				
	現状維持	冊	達成率	75%	100%				
成果指標	患者の声相談窓口相談数		目標	1,113	1,006	993	993	市民に相談窓口が浸透し、相談件数はほぼ横這いで概ね目標を達成している。	
			実績	1,006	993				
	現状維持	件	達成率	90%	99%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	啓発冊子をより多くの市民に知ってもらおうと新たに健康づくりの関係団体(地区組織)を配布先に追加したため、配布数は昨年度と比較して増加し、目標数を達成することができた。また、患者の声の相談窓口への相談件数については、従来より医療機関や市民を対象とした講習会または市のホームページを利用し窓口の周知を図っており、市民への認知が進んでいることもあって件数はほぼ横這い状態であった。 今後も、医療安全の周知啓発及び適切な相談体制を確保することで市民の医療への信頼確保に繋げていきたい。							
課題	医療法の一部改正による、医療の変化や、複雑化する相談内容に柔軟に対応するため、相談員の資質向上や窓口の相談体制の強化に取り組んでいきたい。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	住民と医療機関の信頼関係を構築し、医療安全に繋げていく必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業課	担当G	医薬指導担当	連絡先	911-1805
------	-------	-----	------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	衛生検査所精度管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	臨床検査技師等に関する法律第20条の3		
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】医療機関から検体検査を受託している登録衛生検査所の検査精度を向上させることを目的とする。 【背景】保健所設置市となった平成10年度から、衛生検査所での検査精度を向上させるため、衛生検査所精度管理事業として開始し、現在に至っている。				
対象・内容	【対象】衛生検査所 【内容】衛生検査所への立入検査(専門委員の同行、既知検体持込) 衛生検査所精度管理事業(愛媛県と合同で実施) ・オープン調査、ブラインド調査 ・精度管理責任者会議の開催 ・精度管理専門委員会の開催(専門委員(6名))				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健所総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	県事業への負担金		169
予算 (千円)	事業費計	246	246	246			精度管理専門委員の報酬	20	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	246	246	246		消耗品費	18		
決算 (千円)	事業費計	215	207			主な 取組 内容 【R7】	・衛生検査所への立入検査を2施設に 対して実施 ・愛媛県と共同で外部精度管理事業を 実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	215	207						
	(執行率)	87%	84%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	衛生検査所への立入検査		目標	2	2	2	2	衛生検査所への監視計画のとおり立入検査を実施した。	
			実績	2	2				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	衛生検査所への立入検査や精度管理事業を行うことにより、法令順守、精度管理の向上につながり、市民の医療の質の向上につなげることができた。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	検体検査を行う衛生検査所への立入検査や精度管理事業を行うことにより、検査所で行う検査の精度管理の向上につながり、その結果、市民への安心・安全な医療の提供に役立っている。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	医薬指導担当	連絡先	911-1865
------	-------	-----	-------	-----	--------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	病院等監視指導事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—		
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	医療法第25条第1項		
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】病院、診療所、助産所、施術所及び歯科技工所等の施設が、各関係法令に基づき適正な管理が行われているか監視指導し、医療の安全を確保することを目的としている。 【背景】保健所設置市になった平成10年度から、関係法令に基づく届出等の受理、許認可等の事務及び立入検査等を実施している。 ※令和7年度からは「免許申請受理事業」を統合し、医師、看護師等の医療従事者の免許に関係する申請受付事務を実施している。				
対象・内容	【対象】病院、診療所、助産所、医療法人、施術所、歯科技工所、栄養士養成施設等 【内容】施設の開設や変更等に関する申請、届出等の審査、医療法人に関する認可や届出等の審査、事業報告書等の閲覧及び指導監視、施設の新規開設や変更に伴う現地調査及び医療法に基づく立入検査、苦情、相談等に伴う立入検査 医療従事者の免許証の登録、書換等の受付及び国・県への進達事務				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健所総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	消耗品費		204
予算 (千円)	事業費計	392	545	475			通信運搬費	【R7 決算】	110
	国費・県費								
	市債								
	その他	875	862	676					
一般財源	-483	-317	-201						
決算 (千円)	事業費計	262	403			主な取組 内容 【R7】	・病院、診療所、助産所、施術所等の開設や 変更等に関する審査 ・医療法に基づく病院、診療所、助産所の立 入検査 ・医療法人の設立、報告等に関する審査等 ・医療従事者の免許証の登録、書換等の受 付及び国・県への進達事務		
	国費・県費								
	市債								
	その他	639	704						
	一般財源	-377	-301						
	(執行率)	67%	74%						
人役	正規職員	3.5	4.0	4.0		特記 事項	令和7年度に「免許申請受理事業」を統合		
	その他	0.0	0.5	0.5					
	合計	3.5	4.5	4.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	医療監視		目標	173	172	172	172	医療監視計画に基づき、施設への立入検査を計画的に実施できた。	
			実績	173	172				
	現状維持	件数	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	病院、診療所、助産所、施術所及び歯科技工所等の施設の開設時や変更時の申請事務で適切に書類審査できている。また病院等への定期的な立入検査では、計画通りに施設に立ち入りすることができ、目標件数を実施することができた。この他、医療機関で法令違反が疑われる事案や院内感染拡大時等についても、必要に応じて立入検査を実施するなど、適切に指導助言を行っており、市民への安全安心な医療の提供に繋げることができた。							
課題	特になし。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民への安全安心な医療の提供を確保するために、継続的に病院等に監視指導を行う必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市医師会准看護師・看護師育成事業補助金	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0322					
政策【分野】	健康をつなぐ【健康・医療】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	健康でいきいき暮らしている		—	—	
施策	医療・保健・衛生体制の整備	根拠法令	松山市准看護師・看護師育成事業補助金交付要綱		
主な取組	地域医療体制の維持				
目的・背景	【目的】市の地域医療保健分野で大きな役割を担っている松山看護専門学校への補助金交付により、高度化・多様化する医療や保健に対するニーズに応えられる優秀な看護師等を多く輩出し、担い手の不足を解消するとともに、地域医療のレベルアップに貢献することを目的としている。				
対象・内容	【対象】松山看護専門学校 【内容】准看護師、看護師養成事業の運営補助として400万円を交付する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健指導費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山看護専門学校の事業 運営補助金		4,000
予算 (千円)	事業費計	4,000	4,000	4,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,000	4,000	4,000					
決算 (千円)	事業費計	4,000	4,000			主な取組 内容 【R7】	松山看護専門学校の運営事業に対する補 助金を支出した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,000	4,000						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	令和7年度に保健予防課から医事業事課に 事業を移管した。		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山看護専門学校看護師・准看護師の市内就職率		目標	-	-	70	70	准看護師の市内就職率が83.3%(前年度比+12.9%)と増加したのに対し、看護師の市内就職率が34.4%(同-24.3%)と減少したことによる。	
			実績	62.2	45.1				
	現状維持	%	達成率	-	-				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	R7年度は全体として市内就職率が減少したものの、毎年一定数の准看護師・看護師を市内に輩出し医療体制の確保に寄与しているため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、松山看護専門学校の運営を支援することで、市内で就職する看護師を確保し、医療体制を確立するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	健康医療部	課等名	医事業事課	担当G	総務調整・救急医療担当	連絡先	911-1804
------	-------	-----	-------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	災害用医薬品管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
1011					
政策【分野】	安全と安心をつなぐ【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	災害への備えがあり、安心できる		○	－	
施策	地域の防災力向上	根拠法令	災害時の医療救護活動についての協定書(一般社団法人松山薬剤師会)		
主な取組	危機管理体制の強化				
目的・背景	【目的】大規模災害発生時に迅速に医療救護活動を実施するため、救護所等で必要な医薬品を確保することを目的としている。 【背景】市が災害用医薬品を備蓄すると、使用しなかった場合に期限切れの医薬品が廃棄となるため、松山薬剤師会に維持管理等を含めた委託を開始した。				
対象・内容	【対象】松山薬剤師会 【内容】災害時に医療救護活動で使用する医薬品の備蓄・管理を松山薬剤師会に委託する。 なお、医薬品については、平成30年度から令和4年度までの5か年で15セットを配備し、松山市医師会や松山薬剤師会と協議しながら、できるだけ期限切れでの廃棄が少ない管理体制になるよう市内薬局の協力のもと備蓄医薬品の管理業務を委託している。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	保健所費	目	保健所総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山薬剤師会への委託料		450
予算 (千円)	事業費計	300	450	450					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	300	450	450					
決算 (千円)	事業費計	450	450			主な取組 内容 【R7】	松山薬剤師会との災害協定に基づき、委託 契約を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	450	450						
	(執行率)	150%	100%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項	令和6年度中補助金増額依頼があり、流用 で対応。令和7年度から予算増額		
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	備蓄医薬品(維持)		目標	15	15	15	15	期限切れでの廃棄が少ない管理体制になるよう医薬品の見直しを行い、市内15セットの備蓄在庫を維持した。	
			実績	15	15				
	現状維持	セット	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	災害時に使用することができる医薬品を備蓄することができている。							
課題	ここ数年、薬剤の供給が不安定で確保が難航する薬剤があり、松山薬剤師会と連携して安定確保に努める必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	災害時の医療救護活動に備える必要があるため。